

（寄稿）

「車いす目線から巡る金沢駅」のプロローグより

桶屋 善一

2018年頃は七尾市では、介護タクシーが3社4台、NPO法人の移動サービスがあったこと、私も身体が自由が利いて自由に外出出来ました。しかし、現在では、手の動きが悪くなり、電動車いすの操作も難しくなりました。

また、現在の七尾市の介護タクシーの状況は、介護タクシーの乗務員は、ヘルパー資格が必要になり、乗務員の高齢化、労働時間の制約のため、介護タクシーは1社のみ、平日の日中だけになりました。以前のように、朝早く青山彩光苑を出て、金沢、富山に行くことは夢になりました。

これは最近ニュースで流れているように、コロナ禍以降は、全国的なタクシードライバー不足が問題になっているようです。

今後は障害者、高齢者の外出が難しい時代になってくると思います。



～次号へ続く～